

岐阜県職員倫理憲章 西濃保健所実行計画

今般の不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり西濃保健所実行計画を定めます。

平成19年4月12日

(最終更新平成22年4月1日)

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・法令に照らして判断・行動し、疑念や不信を招くことのないよう努めます。
- ・不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

公務員としての自覚を徹底し、地方公務員法をはじめとする各種法令を遵守します。勤務時間内・外を問わず交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。だれにでも公平、公正に対応するとともに関連法規に照らして審査し、公正な県政の運営につなげます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

岐阜県の行政改革に沿って事務事業の見直しを推進します。事務用品の在庫管理の徹底や再利用の促進、両面コピーや縮小コピーなどの活用、環境マネジメント(ISO14001)の実践などにより、経費節減を徹底します。職員の時間管理意識の徹底や管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫による業務の効率化等により、時間外勤務の縮減に努めます。電気はこまめに切るとともに、ガス・水道を効率よく使用し、経費の節減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・専門的な能力・知識と幅広いもの見方・考え方の習得に努めます。
- ・法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

【取組事項】

まごごろのこもった行政サービスの提供に心がけ、思いやりのあるきめ細やかな仕事を進めます。また、プライバシーに配慮した適切な対応を図ります。

担当者不在でも窓口業務に支障をきたさないよう、担当内で業務内容の研修を行うこと等によりサービス体制の確保に努めます。

保健衛生業務等に関する国や他県の動向などについて、各種メディアから積極的に情報収集し、所内で共有し活用を図ります。

業務に関連した研修会等に積極的に参加して専門的能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。

地域の関係者に対して、法律等の改正や衛生に係る技術・知識を講習会等を通じて積極的に伝達します。

「自分の健康は自分で守り、つくる」を合言葉に、日頃の健康管理に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

感染症・不明疾患・精神等の健康危機管理及び食中毒の発生等あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、所属内の緊急連絡網を整備します。

あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。

情報の伝達は下から上へ、上から下へ、関係機関へ迅速・的確に行います。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・正確な情報の確保・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

問題発生時には、緊急連絡網等の活用により全職員への情報伝達を迅速に完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。

所内一丸となって問題の原因究明を行い、関係機関等と連携して、再発防止に万全を期します。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

所内連絡会議や担当内の打ち合わせなどを月2回以上実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。

良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。

「県民のために！」という認識のもと、「明るく元気な」職場づくりに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・地域での活動に積極的に参加します。
- ・環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

全ての職員が一つ以上の地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）に参加し、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。

事務事業の見直し・効率化、時間管理意識の徹底などにより、職員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組みます。

環境マネジメント、交通安全、防災など、職場ぐるみで地域の身近な課題に取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・衛生行政における情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

ホームページを活用するなど、保健所の取り組み等を積極的に提供します。

「現場主義」と「対話重視」を基本に、住民の目線で意見・提言を聴取し、日々の業務に活かします。